

科目名	基礎情報処理	科目コード	21180
-----	--------	-------	-------

学科名・学年	電気電子システム工学科・1年
担当教員	宮崎 敏昌、矢野 昌平（電気電子システム工学科）
区分・単位数	履修単位科目・必履修・2単位
開講時期・時間数	通年，60時間【内訳：講義26，演習26，実験0，その他8】
教科書	・ICT基礎教育研究会，ネットワーク社会における情報の活用と技術， 実教出版，2006 ・長岡高専・情報処理共通化ワーキンググループ， 平成19年度情報処理共通テキスト，長岡高専，2007
補助教材	別途資料を配付
参考書	

【A．科目の概要と関連性】

情報化社会と呼ばれる今日、情報や情報機器を正しく使えることは、技術者として必須事項である。本科目では、本校のコンピュータ及び情報ネットワークの利用を通じて、コンピュータによる情報の収集・活用・管理の基礎について学習する。

【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(D)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
本校の情報ネットワークの利用方法を習得する	-	d1
情報を操作する上での注意点について理解し、実践出来るようにする	-	c2
文書作成・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトの基礎的な利用方法を習得する	-	e1

【C．履修上の注意】

皆さんが技術者として成長する将来において、コンピュータは必須の道具となります。コンピュータに使われないように、苦手意識を持たず積極的に実習に取り組んで下さい。また、情報ネットワークを利用する際には、実社会以上にマナーの遵守が求められます。コンピュータを道具として使いこなす事だけではなく、情報ネットワークにおけるマナーやエチケットを十分理解し、それを実践出来るようにして頂きたい。

【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。50XX点以上を合格とする。

定期試験（80%）【内訳：前期中間0，前期末35，後期中間0，後期末45】

その他（20%）【授業への取り組み態度10，プレゼンテーション10】

【E．授業計画・内容】

前期

回	内容	備考
1	授業到達目標の説明, 情報の概念	
2	長岡高専計算機システム概説, Windows の基本操作(1)	
3	情報の収集・整理(1), Windows の基本操作(2)	
4	情報の収集・整理(2), Windows の基本操作(3)	
5	情報の収集・整理(3), Windows の基本操作(4)	
6	情報の発信・交換と評価(1), 電子メールの仕組み概説, 電子メール基礎(1)	
7	情報の発信・交換と評価(2), 電子メール基礎(2)	
8	情報の発信・交換と評価(3), 電子メール基礎(3)	
9	情報の収集・整理・加工・表現(1)	
10	情報の収集・整理・加工・表現(2)	
11	情報の収集・整理・加工・表現(3)	
12	情報の収集・整理・加工・表現(4)	
13	演習 1 報告書の作成	
14	演習 2 報告書の作成	
-	前期末試験	試験時間：50 分
15	試験解説と発展授業	

後期

回	内容	備考
1	問題解決の方法論	
2	コンピュータの仕組み	
3	情報通信ネットワーク	
4	情報のデジタル表現(1)	
5	情報のデジタル表現(2)	
6	演習 3 デジタル情報	
7	コンピュータ上の問題解決(1)	
8	コンピュータ上の問題解決(2)	
9	演習 4 データの解析・処理	
10	演習 5 データの解析・処理	
11	情報の管理とセキュリティを守る技術	
12	演習 6 プレゼンテーション資料の作成	
13	演習 7 プレゼンテーション資料の作成	
14	演習 8 プレゼンテーション (学習発表会)	
-	後期末試験	試験時間：50 分
15	試験解説と発展授業	

1 週間に 2 回以上授業がある場合、「回」を「週」に読み替えてください。(この行は削除)